

コマンドラインインターフェイス(CLI)を使用したスイッチでの簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)ユーザの設定

目的

Simple Network Management Protocol (SNMP ; 簡易ネットワーク管理プロトコル) は、ネットワーク内のデバイスに関する情報の記録、保存、および共有に役立つネットワーク管理プロトコルです。これにより、管理者はネットワークの問題に対処できます。SNMPは、管理情報ベース(MIB)を使用して、利用可能な情報を階層的に保存します。

SNMPユーザは、ユーザ名、パスワード、認証方式などのログインクレデンシャルによって定義されます。SNMPグループとエンジンIDに関連付けて動作します。コマンドラインインターフェイス(CLI)を使用してSNMPグループを設定する方法については、[ここをクリックしてください](#)。SNMPv3だけがSNMPユーザを使用します。アクセス権を持つユーザは、SNMPビューに関連付けられます。

たとえば、SNMPユーザをネットワーク管理者がグループに関連付けて、アクセス権を1人のユーザではなく、特定のグループのユーザに割り当てるように設定できます。ユーザは1つのグループにのみ属することができます。SNMPv3ユーザを作成するには、エンジンIDを設定し、SNMPv3グループを使用する必要があります。

この記事では、CiscoスイッチのCLIを使用してSNMPユーザを設定する方法を説明します。

該当するデバイス

- Sx350シリーズ
- SG350Xシリーズ
- Sx500シリーズ
- Sx550Xシリーズ

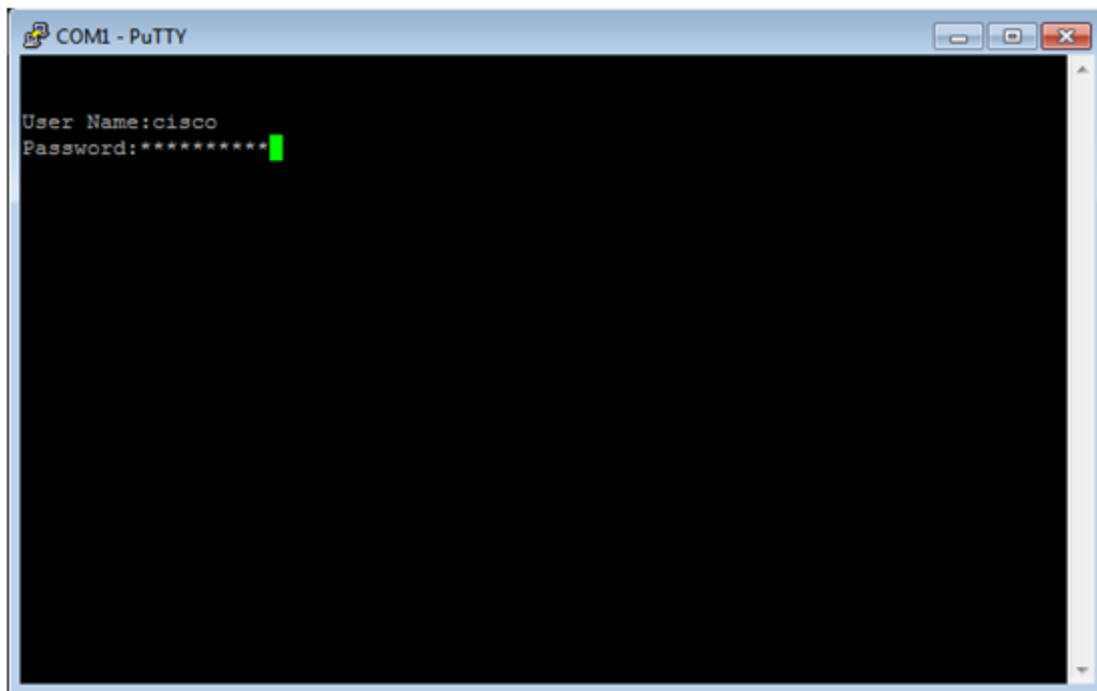
[Software Version]

- 1.4.7.05 — Sx300、Sx500
- 2.2.8.04 — Sx250、Sx350、SG350X、Sx550X

スイッチでのSNMPユーザの設定

エンジンIDの作成

ステップ1：スイッチのCLIにアクセスします。



注：この例では、PuTTYはスイッチのCLIにアクセスするために使用されるアプリケーションです。デフォルトのユーザ名とパスワードはcisco/ciscoです。クレデンシャルをカスタマイズした場合は、ユーザ名とパスワードを使用します。

ステップ2：次のコマンドを入力して、グローバルコンフィギュレーションモードに切り替えます。

```
Switch350X#configure terminal
```

ステップ3：次の構文を使用してエンジンIDを作成します。

```
snmp-server engineID local {engineid/default}
```

```
Switch350X(config)#snmp-server engineID local  
57AD57AD57AD
```

注：engine-idは、管理ドメイン内で一意である必要があります。この例では、snmp-server engineID local 57AD57AD57ADが入力されています。

ステップ4：次の構文を使用してSNMPユーザを追加します。

```
snmp-server user username groupname {{v1/v2c/remote host/auth {{md5/sha}} auth-  
password [priv-password] ]}}
```

場所：

- username：エージェントに接続するホスト上のユーザの名前を定義します。ユーザ名は最大20文字です。
- groupname：ユーザが属するグループの名前。グループ名は最大30文字です。
- v1：ユーザがSNMP v1ユーザであることを指定します。
- v2c：ユーザがSNMPv2cユーザであることを指定します。

- v3 : ユーザがSNMPv3ユーザであることを指定します。
- リモートホスト : (オプション) リモートSNMPホストのIPアドレス (IPv4、IPv6、またはIPv6z) またはホスト名。
- auth: (オプション) 使用する認証レベルを指定します。
- md5: (オプション) ハッシュメッセージ認証コード(HMAC)MD5-96認証レベルを指定します。
- Sha: (オプション) HMAC-SHA-96認証レベルを指定します。
- auth-password: (オプション) 認証パスワードを指定します。最大32文字まで指定できます。
- encrypted-auth-password: (オプション) 暗号化された形式の認証パスワードを指定します。
- priv-password: (オプション) プライバシーパスワードを指定します。最大64文字まで入力できます。
- encrypted-priv-password: (オプション) 暗号化された形式のプライバシーパスワードを指定します。

```
SwitchG350X(config)#snmp-server user John_Doe
CiscoTesters v3 auth md5 Cisco1234$
```

注 : この例では、snmp-server user John_Doe CiscoTesters v3 auth md5 Cisco1234\$が入力されています。

ステップ5 : 次のコマンドでSNMPユーザを確認します。

```
Switc350X(config)#show snmp users

User name      : John_Doe
Group name     : CiscoTesters
Authentication Protocol : MD5
Privacy Protocol      : None
Remote          :
Auth (Encrypted)    :
ZkTIQ/yXr30t7sJurJq5wUno9jqNsb5/skSek/105NM=
Priv (Encrypted)   :
```

これで、スイッチのCLIからSNMPユーザを設定できました。